

事業所名		Solis可児							支援プログラム（参考様式）				作成日	令和8	年	7	月	1	日
法人（事業所）理念		自分らしくいられる未来のために																	
支援方針		小集団の中で、社会性や協調性を身につけられるように支援していきます。個別にかかわる時間も大切にし、お子様とスタッフとのコミュニケーション作りも心掛けています。また、ブラジルを主とした多国籍のお子様も利用されているため、お子様・保護者様も安心して話すことができる場を提供しています。お子様・保護者様のニーズにも応えられるように資格のあるスタッフが支援方法を共有し、総合的に支援が行えるように努めています。																	
営業時間		平日	9	時	30	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無		ありなし						
		土日祝	8	時	30	分から	17	時	0	分まで									
		支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	・定期的かつ定時に通所できるように生活リズムを整えるように支援します。 ・通所したら手洗い、消毒などを行い、定期的な身心の把握（検温・気分の把握など）を行い、一人一人の健康状態を確認し、意思表示が困難な子どもたちの小さなサインにも気づけるように配慮していきます。																	
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や手足の運動、体力の向上等支援します。 ・視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるように、折り紙やスライム、ボール投げやトランポリンなどを行い、手先の使い方・体の使い方を覚えられるように支援していきます。 ・感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をしていきます。																	
	認知・行動	・プリントを使い、感覚・数の認知形成を促していきます。 ・小集団でのゲームなどのルールの確認や認知の偏りの配慮を行いながら支援していきます。 ・季節の変化への興味など感性形成のための外出・行動に取り組んでいきます。																	
	言語 コミュニケーション	・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化を行いながら、支援していきます。 ・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発生を促す支援をしていきます。 ・小集団の活動を通して、職員や他児との関わりの中で、コミュニケーションの能力向上のため支援していきます。																	
	人間関係 社会性	・行事を通して自分の役割を果し、友だちと協力する喜びを知ること、自己肯定感が持てるよう促していきます。 ・小集団の活動に参加するための手順やルールを理解し、遊びや活動に参加できるように支援していきます。 ・大人を介して、自分のできること、できないことなど自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援していきます。																	
家族支援		・お子様の発達状況や特性の理解に向けた相談援助、孤独感を感じやすい時期でもあるため、本人、家族の支援も行っています。 ・言語面で不安がある場合には可能な限りサポートできる体制が整っています。									移行支援		・進路や移行先の選択についてお子様やご家族への相談援助、移行に向けた支援を行っています。 ・地域で暮らす他の子どもと繋がりがながら日常生活を送ることができるように支援していきます。 ・地域の保育や教育等の支援を受けられるように支援していきます。						
地域支援・地域連携		・学校・相談支援事業所と連絡を取り、お子様の発達支援に関する共有や気になっている点等、密に共有しています ・天気の良い日には川合公園や事業所の周りを散歩をし、ご近所の方やすれ違う方と挨拶をしたり、地域とのかかわりをつくったりしています									職員の質の向上		・毎月事業所研修を通じて、知識や現場で使いやすい技術を学んでいます ・日々朝礼・昼礼等のミーティングで支援の状況や目標を確認し、スタッフ同士でコミュニケーションをとるように努めています						
主な行事等		・フェスタジュニーナ(ブラジルの農民祭)、夏祭り、七夕、ハロウィン、クッキング等、多国籍のお子様もいるため様々な国の文化を感じられるような、イベントを実施しています。また、イベント開催時には利用者様のご兄弟やご家族にもイベントに参加してもらうことがあります。																	